

様式第1号 (第7条関係)

令和 2年 月 日

沖縄県知事 殿

バス通学費支援事業認定申請書

次の5点を確認の上、□にレ点を付けてください。(この欄にチェックがない場合は、認定できません。)

- この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。
- この申請書に虚偽の記載があった場合は、沖縄県の求めに従い、沖縄県が負担した通学費全額を即時返還します。
- 生活保護法の生業扶助(高等学校等就学費)による通学費を受給していません。
- この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費(見学旅費又は特別育成費(母子生活支援施設の高校生等を除く))の支弁対象ではありません。
- 必要な場合に限り、沖縄県が手当の受給状況、在学状況、バスの利用状況等を市町村、学校、バス事業者、沖縄子ども未来県民会議等の関係機関に確認を行い、当該関係機関が県へ回答することに同意します。

1【申請者】(保護者等)

ふりがな		高校生等との関係 ※該当する□にレを記入	<input type="checkbox"/> 親権者 <input type="checkbox"/> 未成年後見人 <input type="checkbox"/> 主たる生計維持者 <input type="checkbox"/> 生徒本人 <input type="checkbox"/> その他()
申請者氏名	印		
申請者住所等	〒 県 市町村	丁目	
	TEL ()		

2【対象となる高校生等】

ふりがな		生年月日	昭和 年 月 日 平成 年 月 日
氏名			
生徒住所	※申請者住所と同じ場合は、「申請者と同一」と記入して下さい。		
在学する学校	学校の名称等	学校名: 小禄高等学校	学年: 年生
	課程	<input checked="" type="checkbox"/> 全日制 <input type="checkbox"/> 定時制	
	在学期間	平成・令和 年 月 日 ~	
自宅から学校までの距離(徒歩)	片道 km	※原則、片道2km以上が対象です(障害等により、徒歩による通学が困難である場合を除く)。	

3【バス利用区間等】

利用バス事業者	いずれか1つの□にレ点を付けてください <input type="checkbox"/> 琉球バス交通 <input type="checkbox"/> 那覇バス <input type="checkbox"/> 沖縄バス <input type="checkbox"/> 東陽バス <input type="checkbox"/> 琉球バス交通・沖縄バス共同運行	系統番号	主に利用する系統番号を1つ記入して下さい※
利用区間	() ~ ()		

※記入した系統番号以外で、利用可能な系統番号があればOKICA発行時にお知らせします

【バス利用区間等②】※乗り継ぎがある場合に記入して下さい

利用バス事業者	いずれか1つの□にレ点を付けてください <input type="checkbox"/> 琉球バス交通 <input type="checkbox"/> 那覇バス <input type="checkbox"/> 沖縄バス <input type="checkbox"/> 東陽バス <input type="checkbox"/> 琉球バス交通・沖縄バス共同運行	系統番号	主に利用する系統番号を1つ記入して下さい※
利用区間	() ~ ()		

※記入した系統番号以外で、利用可能な系統番号があればOKICA発行時にお知らせします

4【モノレール利用区間】※モノレール通学費負担軽減の認定状況について記入して下さい

沖縄子ども未来カード	<input type="checkbox"/> 交付を受けていない <input type="checkbox"/> 交付を受けている(利用している区間を下に記入して下さい)
利用区間	() ~ ()

※沖縄子ども未来カードの交付を受けている場合、バス利用区間とモノレール利用区間の重複は認められません(バスとモノレールを乗り継ぐ場合のみ可)

5【利用予定回数】1週間あたりのバス通学利用予定回数を記入して下さい。

	行き①	帰り②	合計①+②	
バス利用予定回数	回/週	回/週	回/週	※授業がある日のみ利用可能 (1週あたり合計利用回数は最大10回まで)

6【該当する認定要件】※該当する認定要件の記入欄に○印をつけてください。

記入欄	認定要件	添付が必要な書類
①	今年度に「沖縄県高等学校等奨学のための給付金」の支給決定を受けた者 ※一部給付のみの場合は除きます。その際は、②で記入して下さい。	高校生等奨学給付金支給決定通知書 (コピー)
②	今年度に「沖縄県高等学校等奨学のための給付金」を受給出来る者と同等の収入状況である者	(令和2年度) 課税証明書または非課税証明書 (下記8を確認してください)
③	前年度に「沖縄県高等学校等奨学のための給付金」の支給決定を受けた者	高校生等奨学給付金支給決定通知書 (コピー)
④	児童扶養手当又は母子及び父子家庭等医療費助成を受給している者	児童扶養手当証書または 母子及び父子家庭等医療費受給者証 (コピー)

7【保護者等】保護者等の氏名及び対象高校生等との続柄を記入して下さい
(親権者が2名の場合は、2名分ご記入下さい)

保護者等の氏名	高校生等との続柄	保護者等の氏名	高校生等との続柄

※ここから下は、上記6【該当する認定要件】②に該当する場合のみ記入して下さい。

8【保護者等の所得状況】

該当するいずれかの□にレ点をつけ、令和2年度の課税証明書または非課税証明書を添付して下さい。

保護者等の状況	<input type="checkbox"/>	親権者(両親)2名分
	<input type="checkbox"/>	親権者1名分 ※親権者が課税期日に日本国内に住所を有していない場合は支援対象ではありません。 ・離婚、死別、未婚により親権者が1名の場合
	<input type="checkbox"/>	親権者1名分 ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書等を提出できない場合 理由: _____
	<input type="checkbox"/>	未成年後見人()名分 ・親権者が存在せず、未成年後見人が専任されている場合(未成年後見人が複数専任されている場合は、全員分) ※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。
	<input type="checkbox"/>	生徒の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者)1名分 ※生徒の保険証の写しを添付して下さい。 ・親権者又は未成年後見人が存在しない場合 ・生徒本人が成人に達しているが、主たる生計維持者が存在する場合 等
	<input type="checkbox"/>	生徒本人(成人) ・成人に達しており、自身が主たる生計維持者である
<input type="checkbox"/>	生徒本人(未成年) ・所得確認の対象が生徒本人(親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合)	